

アドレス <http://www.kioicho-rc.jp>

東京紀尾井町ロータリークラブ

KIOICHO WEEKLY Vol.29-2 No.1266 2020.7.9

国際ロータリー会長 HOLGER KNAACK
ホルガー クナーク

Rotary Opens Opportunities

テーマ ロータリーは機会の扉を開く

* 例会日 木曜日 12:30

* 事務所 102-0083 東京都千代田区麹町3-5

* 例会場 ホテル ニュー オータニ

得水ビル2階202号

* 創立 1992年9月17日(平成4年)

電話 東京03(3265)8597番

* 会長 大竹章裕 幹事 坂田生子

FAX 東京03(3262)5279番

* 会報雑誌委員会 委員長/森田建二 副委員長/佐藤香織・吉岡幸志 委員/今井千晶、熊川貴昭、馬淵知子、山口妙子

7月2日 第1回例会(通算1265回) 会場:舞の間

1. 出席者 会員 64名
ゲスト 3名
出席率 88.89%

司会 深尾一郎会員

2. 開会の辞・点鐘 大竹章裕会長
3. 四つのテスト 池尾彰彦職業奉仕委員長
4. ビジター紹介 中島 聡会員

・ 嶋村文男ガバナーノミニ挨拶



ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021 年度国際ロータリーテーマ

東京紀尾井町RCの皆様こんにちは。今年度ガバナーノミニを拝命致しました嶋村です。どうぞよろしくお願い致します。先ずもって、このような素晴らしい初例会、誠におめでとうございます。当地区でも一番元気なクラブかなと言う風に思っております。前年度、奥寺会長、谷井幹事お疲れ様でございました。私、何度もお邪魔させていただき、明るい雰囲気で大変嬉しく思っております。今年度、野生司ガバナーは、会員増強に大変力を入れております。ただ、この新型コロナの影響でかなり会員が減るだろうという中、先ほど、伺いましたら今日、新入会員の方がいるということで、東京紀尾井町RCさんは、100名を目指すというターゲットも聞きましたので、ぜひ我が2580地区の模範になるように会員増強、そして、女性会員も沢山いらっしゃるということで、しなやかな中に多様性を持ったクラブ活動が行われることを期待しております。今年度、大竹会長のテーマが“幸せになろう。



RI会長 ホルガー クナーク

Be HAPPY”と言う事で、実は坂田幹事は業界の大先輩で、とてもアイデアマンということで、素晴らしいクラブ運営がされることを期待しております。1年間素晴らしいクラブ活動、そして又、大竹会長は、このコロナが凄く人数が増えて来た中で、もう1回考え直そうということで素晴らしいアイデアを持っているようでございますので、会員一丸となって大竹会長、坂田幹事を盛り上げて頂きたいと思っております。本日は誠におめでとうございます。

7/9 第2回例会

麗の間

「就任挨拶」
4大奉仕委員長

7/16 第3回例会予告

舞の間

「就任挨拶」 プログラム委員長、SAA
会員増強委員長、ロータリー研修委員長
出席委員長

・東京麹町RC 須藤 仁会長挨拶

皆様こんにちは。東京麹町RC第53代の会長を仰せつかりました須藤でございます。本日は、東京紀尾井町RC大竹会長の初例会と言う事で参加させて頂きました。今、嶋村ガバナーノミニがおっしゃったように勢いが有るこの東京紀尾井町RC、本来ならば若林ガバナーエレクトと同席するつもりでしたが、私共は、今40名という非常に厳しい状況で、どうか紀尾井町RCに習って、1年間勉強させて頂いて、70名には届きませんが、野生司ガバナーが申しました増強をしたいと思っております。ぜひ勉強したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。本日はおめでとうございます。

5. 会長挨拶 大竹章裕会長

・新入会員バッチ授与 林 裕人会員

・地区委員委嘱状授与 西岡孝志ガバナー補佐、谷井 玲分区幹事、
目代純平拡大増強委員、前原秀一米山奨学委員
三村智恵子クラブ運営支援委員、
石川ヒロ子公共イメージ向上委員、
奥寺邦俊R-刈-希望の風副委員長、
原田尚彦国際大会参加推進委員
中村ひろみRYLA委員

・第2回米山功労者表彰 渡邊藍子会員



6. 幹事報告 坂田生子幹事

- ①週報、バギオ便り、ガバナー月信、ロータリーの友、クラブ計画書 配布致しました。
クラブ計画書の最後のページに例会カレンダーが添付されておりますのでご覧下さい。
- ②今月（7月）のロータリーレートは107円になります。
- ③今年度の会費は本日のクラブ総会の結果を持ちまして送付させて頂きます。

7. 委員会報告 なし

8. ニコニコボックス報告 衛藤重豪会員

9. クラブ総会 議長 大竹章裕会長

前年度、奥寺会長時にクラブフォーラムを開催致しまして、アンケートをとりました。その中でクラブ総会において決めるということになっておりましたので、本日、臨時クラブ総会を開催致したいと思っております。議題は2点です。一つは、例会休会時の余剰金を会費に充当するか否か。もう一つは、定款・細則見直し委員会の設置です。（今まではワークグループとして活動しておりましたが、こちらを委員会に昇格するか否か。）この2点です。アンケートの結果は、会員74名中、回答48名ということで残念ながら2/3に達しておりませんでした。回答結果は、第1号議案 賛成45名、反対2名、意見1名です。第2号議案は、賛成43名、無印3名、当事者で回答を控える2名です。

本来ならばアンケートの結果で決めたいと思うのですが、人数に達しておりませんので、本日、ご出席の皆様のご意見を伺い、決めたいと思っております。

第1号議案に関しまして、賛成の方は挙手を願います。有難うございます。2/3以上の方が手を挙げておられるので、アンケート用紙に記載した通り会費170,000円、返還金40,000円、ロータリー財団寄付11,000円、計141,000円の請求とさせて頂きます。

第2号議案、定款・細則見直し委員会を1年間の時限委員会として発足させることに賛成の方は挙手を願います。有難うございます。こちらもほとんどの方が挙手下さいましたので、賛成とさせて頂きます。

第1号議案、第2号議案、共に賛成多数という結果になりました。有難うございます。これにて総会を閉会とさせて頂きます。

10. 卓話 「就任挨拶」

・会長 大竹章裕

皆様、今期会長を仰せつかりました、大竹章裕です。私を選んで下さって本当に有難うございます。一生懸命つとめますので、どうぞよろしくお願いいたします。

- 1. 私の感じるクラブの現状
- 2. 皆さんへ問題提起
- 3. 年度方針について



さて、多くの方が大変な時期に会長を務めますね、大変ですね。といたわって下さいます。まことにありがたいことで、心から感謝しています。ただ私はこういうときだからこそ、会長を務められて幸運だと思っています。

会も、会社も家庭もそして社会も順風満帆とばかりはいきません。そういう時にはどうすればよいか、それは足下を見直すほかないと思います。

我がクラブは2014～15小島年度から6年連続で会員が44名から約80名まで1.8倍に増えました。会は活性化し、財政にも余裕が出ました。しかし必ずそこに歪みは存在しているはずで

1. クラブの身の丈に応じた奉仕活動をつくること
2. 個々の会員へのケア
3. 急拡大で追いついていなかった組織体制

今年のRI会長ホルガー・クナークさんが方針を述べる動画を見て「私たちは（ロータリーで）共通の価値観を持っている」と言った時、ふと違和感を感じて動画を巻き戻しました。本当にそうなのでしょうか？共通の価値観って何？

この話を坂田幹事にしましたら、それは「**四つのテスト**ですよ！」と明快に答えを返してくれました。坂田さんの元気な答えに私はふっと腹に落ちました。

今年の方針はしあわせになろう～Be Happy. です。そして足下を照らす照顧脚下の精神で日本一のクラブを目指していきたくと思います。

そこで皆さんに提案です。クラブ内で足下を見直していきませんか？

- ・なぜ集まるの？
- ・ロータリークラブって何？と聞かれたら？
- ・なぜニコニコ出すの？
- ・奉仕活動ってやらなきゃダメ？
- ・親睦って？

こういった今まで当たり前で見過ぎていたことを改めて見直しあぶり出しましょう。そしてそれを判断する時の共通の基盤、基準として四つのテストを用いましょう。

コロナで社会的距離を置くとは言え、人間の本質は社会性です。私たちの手でこの東京紀尾井町ロータリークラブを私たちの心のよりどころにしましょう。

今期の方針は「しあわせになろう～Be Happy！」

以上、挨拶を終わります。ご清聴ありがとうございました。

・幹事 坂田生子

2020-2021年度の幹事を務めさせていただきます坂田生子でございます。

丁度5年前に入会させていただき、6月のインニシエーションスピーチで『趣味はダイエット、特技はリバウンド、苦手なことは人前で話をする事です。』とお話させていただいたのが、ずいぶんと昔のような、つい昨日のようなそんな気持ちであります。まさか、私が幹事としてこのようにご挨拶することになるとは、思いも寄りませんでした。ましてや私の一番苦手な人前で話すことをこれから1年間継続して行うと思うと、いささか緊張の糸が張り詰めて参ります。

奥寺前会長、谷井前幹事、本当に心に残る1年をありがとうございました。

今日から新年度と言うことで、バトンを渡されたわけですが、私の前をいつも華麗に素晴らしい実績をもって走られるのが、前幹事谷井さんです。谷井さんは増強委員長の際に12名と言う記録的な新入会員獲得に成功し、その後を引き継いだのが私で、半分程度の成績だったかと思えます。

また、コロナ禍での華麗な舵取りの後に私が引き継ぐこととなり、多少ヨットの心得はあるものの、どこに流されて行くものやら不安でもございます。

皆様のご期待に応えることができるかどうかわかりませんが、紺碧の大海原からぐぐっと場所を移し、緑豊かな粋な木戸をくぐって入る紀尾井庵の大竹会長を支えながら頑張っていきたいと思っております。

さて、先ほど大竹会長より会長方針の照顧脚下の精神で「幸せになろう！Be Happy」とのお話がありました。私はこの実践の為、大竹会長の公設秘書のごとくサポートをして参る所存でございます。良き伝統を守りつつ、新しい変化に臨み、参加することに心から幸せを感じるような紀尾井町ロータリークラブを目指して尽力いたしたいと思っております。

活動計画について

1. 部門制度について

前年度からの部門制を踏襲しつつ、各部門は各委員長を中心にした委員会活動を通じて、各々の活動を充実させていっていただきたいと考えております。とは言え、経験の少ない委員長や副委員長をサ



ポートしていただく為に、ベテランの皆様にも部門アドバイザーについていただく組織とさせていただきます。

各委員会は、委員長の元、2名の副委員長を揃え、万全なる体制を整えたつもりであります。また、会員の皆様におかれましては、ご意見・ご希望を伺いながら複数の委員会に登録をさせていただきます。どうぞ担当する委員会で幸せなる活動を行ってください。

2. 今年度の運営について

新型コロナウイルス感染症の終息を願い、クラブ管理運営部門と連携をとりながら、状況に応じた例会運営を実施して参ります。

本日は、前年度と同様にスクール形式にて開催をさせていただきましたが、理事会等で皆様のご意見を伺い、感染防止に留意しながらより親睦が深まる形式で運営して参ります。

また、受付のキャッシュレス化も検討していきたいと思っております。

3. 会員増強について

大竹会長の『友達 100 人できるかな』のかけ声で掲げた目標に向かって会員増強部門と連携をとりながら、新入会員増強と退会者防止に努め、100 名体勢を目指すスタートの 1 年としていきたいと思っております。どうぞ会員の皆様の積極的なご協力をお願いいたします。

4. 奉仕プロジェクトについて

前年度は、素早く大胆に社会奉仕を行ったり、4 つのテストのファイルを作成し、ロータリーの神髄を広める活動をしてくださったりと本当に素晴らしい活動をされたと思っております。今年度も奉仕プロジェクト部門と連携しながら、会員が積極的に参加できる奉仕活動を目指して参ります。

今までは寄付をすることで奉仕活動としていたことも多かったと思いますが、大竹会長の示す様に、照顧却下の精神で紀尾井町ロータリーらしい奉仕活動を創っていただけると良いと思っております。

5. 定款見直し委員会について

先ほどご承認いただきまして発足した定款見直し委員会では、原点回帰すべく定款を学び、より活動が生きてくる細則を目指します。

金丸委員長を座長として、暫定 1 年の委員会といたします。各ジェネレーションより 1 名を選抜し、ここで、定款を学び、最適なクラブ細則を模索し、会費の考え方や基本的な規則を考え、皆様にお図りしていきたいと考えております。

6. 親睦について

魅力あるロータリーライフとなる様、会員同志の親睦を図るために炉辺会・各サークル活動を開催し、ソーシャルディスタンスをとりながらも会員同志の絆を深めて参ります。また、いつ自粛モードになるか分かりませんが、その際には前会長・幹事が残してくれた実績をなぞりながら進めて参りたいと思っております。また、やはり足をお運びになるのが怖いと思われる大先輩方には、ハイブリットな運営で、インターネット配信をさせていただき、少しでも臨場感をお届けできたら良いと考えております。

7. 地区活動について

今年度は、西岡ガバナー補佐、谷井分区幹事を始め紀尾井町ロータリーからたくさんの方々が活躍される方々がいらっしゃいます。彼らの活動を定期的に発信していただくことにより、地区活動を学び、相互関係をより良くするために地区委員の活動を応援していきましょう。

結びになりますが、この 1 年、どこまでお役に立てるか分かりませんが、

一燈照偶 万燈照国 (いっとうしょうぐう ばんとうしょうこ)

一人一人が一つの燈で隅を照らしていけば、その国が明るくなるという言葉の通り、紀尾井町ロータリーの皆様一人一人の燈を照らして、世界が明るくなるように、幸せの扉を明けて、この紀尾井庵にお越しいただきたいと願っております。

前年度は本当に楽しい 1 年でした。今年度は、ロータリーを楽しみつつ、皆様と一緒に幸せになりましょう！ Be Happy！

・クラブ奉仕委員長 三村智恵子

皆様こんにちは。クラブ奉仕委員長を仰せ付かりました三村智恵子と申します。クラブ奉仕委員会は、副委員長に茨田さん、委員は全委員長で構成されています。クラブ奉仕委員会は何をする委員会か？と聞かれますと多分ほとんどの会員が答えられないと思っております。実は私もよくわからず、クラブ計画書を数年分読みこなしまして、漸く解ってきました。

クラブ奉仕委員会は、会長・幹事を補佐し、会長の活動方針の下に、全委員会を支援する調整役を担う委員会です。所謂、縁の下の力持ちの役割を果たします。私は、ロータリークラブは委員会活動で成り立っていると思っております。会長・幹事だけでは、活動は出来ません。委員会活動は、ロータリークラブの根幹をなすもので、委員会活動を通じてロータリアンとして成長し、友情を育むことが可能になると思っております。



委員会には、大きく分けて、会員の活動の為の委員会と奉仕委員会があります。皆様がよく御存じの S A A、親睦、プログラム、研修、会報雑誌、会員増強等のクラブ管理運営委員会とロータリー財団、米山奨学財団及び四大奉仕委員会の職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕委員会が紀尾井町RCには設けられています。他のクラブの委員会構成はまた異なっており、今年度2580地区のクラブ運営支援委員となりましたので、他クラブの委員会構成等と運営の仕方を学んで来ようと考えております。

さて、私は今回次の二つの目標を掲げました。① 委員会活動の見える化 ② 全員参加型委員会です。まず“委員会活動の見える化”はS A Aとか親睦委員会は、何をしているか会員でしたら、誰でもよく分かっています。しかし特に奉仕関係の委員会は何をしているか???という入会3年未満の会員が多いと思います。そこで、例会での報告とか、全体会議での各委員会の活動内容の確認、途中経過の発表等、年度末クラブファームでの活動報告等をお願いします。昨年度は、社会奉仕委員長の高橋ゆきさんが素晴らしい報告をして下さいました。

次に、“全員参加型委員会”とは？ 私はいつも思うのですが、委員会は委員長、副委員長だけではない！委員全員を巻き込んでこそその委員会活動だと思っています。一年間連絡も来なかったでは何のための委員会活動でしょう。それでは入会年次の浅い会員は可哀そうです。委員会活動を通じてRCへの理解度が深まりますし、友人も出来ます。退会を引き留めることも出来るかもしれません。

委員長、副委員長は大変でしょうが、各委員が楽しく委員会活動をするためにはどうしたらいいかも一生懸命考えなくてはなりません。懇親会を開くことも重要です。

今年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で、ロータリークラブの活動も非常な制約を、余儀なくされています。しかし非常事態宣言解除後の初例会での会員の皆様の笑顔が印象的でした。やっぱり紀尾井町ロータリークラブに加入してよかったと。

大竹会長・坂田幹事を補佐し、皆でBe Happy!～しあわせになりましょう。

御清聴ありがとうございました。

・ガバナー補佐 西岡孝志

2020-21年度のガバナー補佐を担当する西岡です。

ガバナー補佐というのは輪番制でして、前任の西脇ガバナー補佐は2012年に就任されていますので、8年振りのガバナー補佐です。来年度のガバナー補佐はお茶の水RCと決まっています、当クラブが次回ガバナー補佐を担当するのは6年後です。

ガバナー補佐の研修は昨年10月に開始されたのですが、7回の研修予定がコロナの影響で、数回しか受けられず準備態勢としては不十分なのですが、来週の月曜日から早速ガバナー補佐として行動を開始します。

7月は、ガバナーと3回行動を共にするとともに、8ヶ所のロータリークラブを訪問します。

これから1年間、ロータリークラブ発展のために頑張りますので、ご支援をお願い致します。



今日は、時間が限られていますので、ガバナー補佐の役割と組織について手短かに話しをさせていただきます。

ガバナー補佐の立場は、地区の内部組織を効率化するための一環として制度化されていて、担当するクラブが効率的に運営されるようにすることによって、ガバナーを補助するというものです。

従って、ガバナーと各クラブに対してそれぞれ責任があります。

1. ガバナーに対する主な責任は、

- ①地区が設定している目標を達成する。
- ②各クラブの強みや弱み、目標に向けた進捗状況をガバナーに伝える。
- ③ガバナーの公式訪問に同行し、サポートする。

2. 各クラブに対する主な責任は

- ①定期的に、少なくとも3ヶ月に1回 各クラブの例会に出て打ち合わせを行い、情報を収集する。
- ②地区の目標又はガバナーからの要請に対する進捗状況を確認し、促進をはかり必要に応じて支援する。
- ③将来の地区やクラブのリーダーを探し、育成する。等です。

次に、ガバナー補佐として、関係している組織について説明させていただきます。

紀尾井町ロータリークラブの会員数は6月末で、男性54名。女性22名。合計76名です。

千代田区の6クラブで構成する千代田グループに所属しています。

千代田グループの構成は、東京RC、神田RC、麴町RC、お茶の水RC、丸の内RC、そして紀尾井町RCの6クラブです。今年5月末の会員数は568名です。私は、この6クラブの纏め役です。

千代田グループの上に中央分区があります。クラブ数は16クラブで、会員は今年の5月末で976人です。更に、中央分区の上に我々のトップ組織である2580地区があります。クラブ数は70で、会員は5月末で2千995人です。この内訳は、男性会員は2千780人。女性会員は215人です。

第2580地区のガバナーは、野生司義光さんで、東京小石川の所属です。この野生司ガバナーが約3千人の会員のトップにいて、全体を統括しています。

野生司ガバナーの下に、次年度のガバナーエレクト・東京麹町の若林英博さん。次々年度のガバナーノミニーに、東京江戸川の嶋村文男さんがいます。

野生司ガバナーと各クラブを繋いでいるのが、ガバナー補佐、分区幹事、幹事グループです。

前期の当クラブの幹事だった谷井 玲さんが、地区の分区幹事として重要な仕事を担ってくれることになっています。

地区の委員会は、全体で35あります。

この数ある委員会のなかでも今年度2580地区が最重要方針としている会員増強を推進する委員会である「拡大増強委員会」には、目代純平会員が委員として就任します。

この他にも、長い間「希望の風委員会」を手がけてこられた、前期会長の奥寺邦俊会員がこの委員会の副委員長として就任します。

上記2名の他にも、「国際大会参加推進委員会」の委員として、原田尚彦会員。「クラブ運営支援委員会」の委員として三村智恵子会員。「RYRA委員会」の委員として中村ひろみ会員。「米山奨学委員会」の委員として前原秀一会員。「公共イメージ向上委員会」の委員として石川ヒロコ会員。私は「地区研修委員会」並びに「拡大増強委員会」の委員を担当します。

従来は、大西元会長が地区の「青少年奉仕委員会」の委員長やその他の要職を当クラブ代表として活躍しましたが、地区の委員に委嘱された当クラブの会員はこれまで少人数でした。今期は9名が地区の委員となりました。

今後は皆さんも積極的に地区の委員となってロータリークラブの良さを実感してください。

第2580地区の幹部は、紀尾井町ロータリークラブは素晴らしい。地区のモデルにすべきだと

評価していますので、我々は誇りをもって、会員全員が力を合わせ一丸となって他のクラブの模範となるような素晴らしいロータリークラブにしましょう。以上、簡単ですが挨拶とさせていただきます。

11. 閉会の点鐘 奥寺邦俊会長

7/2 お客様 嶋村文男ガバナーノミニー（東京東江戸川RC）須藤 仁様（東京麹町RC会長）
岩出 誠様（東京銀座新RC）

【にこにこボックス】

本日の合計 137,000 円 (47 件)

累計 137,000 円 (47 件)

嶋村 文男君：初例会おめでとうございます。大竹会長、坂田幹事年度の素晴らしい船出。1年間頑張ってください。（ガバナーノミニー東京東江戸川RC）

坂田 生子君：今日から幹事として頑張りたいと思います。6月26日、当社は創業79周年、設立69周年を迎える事が出来ました。支えて下さるお客様、社員たちに心から感謝しています。

須藤 仁君：大竹会長宜しくお願い致します。（東京麹町RC会長）

金田 康男君：①大竹新会長、坂田新幹事、今年度1年間大変ですが、頑張ってください。②6月25日の株主総会で社長を交代して副会長となりました。決算も76期連続して黒字達成で終える事が出来ました。

佐藤 香織君：本人誕生日。今日から新年度ですね。大竹会長、坂田幹事はじめ皆様、1年宜しくお願い致します。

森田 建二君：いよいよ新年度のスタートですね！大竹会長、坂田幹事、まだ大変な時が続きますが、頑張ってください。

井上 行央君：本人誕生日。7月6日で43歳になります。今期は会計を務めさせていただきます。微力ながら頑張りますので、宜しくお願い致します。

大竹 章裕君：一生懸命つとめます。本日より1年間宜しくお願い致します。

石川 隼一君：奥寺さん、谷井さん、昨年度はお疲れ様でした。大竹会長、坂田幹事、1年間宜しくお願い致します。

林 裕人君：本日より宜しくお願い致します。

高橋 ゆき君：大竹会長、坂田幹事、1年間どうぞ
よろしくお願い致します。紀尾井庵
の茶室でどんな事が繰り広げられる
か楽しみです。

石川ヒロ子君：大竹会長、坂田幹事、1年間どうぞ
よろしくお願い致します。“BE
HAPPY” 幸せになりましょう♡

金丸 精孝君：大竹会長、坂田幹事、そして各委員
長の皆様、今年度1年よろしくお願
いいたします。

手島 京子君：大竹会長、坂田幹事、1年間お世話
になります。宜しくお願ひ致します。
楽しみです。

三村智恵子君：大竹会長、坂田幹事、まだコロナ禍
が終息せず大変でしょうが、頑張っ
て下さい!

松島 寛君：大竹会長、坂田幹事、1年間よろし
くお願ひします。本日、早退します。

宮下 真君：今日から新年度ですね!大竹会長、
坂田幹事、1年間宜しくお願ひ致し
ます。

原田 尚彦君：大竹会長、坂田幹事、各委員長の
方々、1年間宜しくお願ひ致します。

宗田 裕司君：大竹会長、坂田幹事、すべての委員
会の皆様、1年間宜しくお願ひ致し
ます。

今井 宗陽君：大竹章裕会長、坂田生子幹事、1年
間宜しくお願ひ致します。

中村 俊輔君：大竹会長、坂田幹事、1年宜しくお
願ひ致します。

谷井 玲君：大竹さん、坂田さん、1年間宜しく
お願ひします。頑張ってね~。

中島有理子君：大竹会長、坂田幹事、1年間どうぞ
よろしくお願ひ申し上げます。

大西太一郎君：大竹会長、坂田幹事、この1年間楽
しみにしております。

金井 繁晴君：大竹さん、大変難しい時期の会長で
すが、頑張っして下さい。

茨田 浩之君：大竹会長、坂田幹事、今年度よろし
くお願ひ申し上げます。

奥寺 邦俊君：大竹会長、坂田幹事、1年間どうぞ
よろしくお願ひ申し上げます。

日高 正人君：新年度宜しくお願ひします。青少年
奉仕委員長頑張ります。

江藤 昭子君：大竹会長、坂田幹事、今日から和の
コンビでよろしくご指導お願ひしま
す。

宮地 勝美君：大竹会長、坂田幹事、いよいよです
ね。1年間宜しくお願ひします。

渡邊 藍子君：大竹会長、坂田幹事、委員の皆様、
今年度も宜しくお願ひ致します。

渡邊 俊一君：大竹会長、坂田幹事、今年1年どう
ぞ宜しくお願ひします。

前原 秀一君：大竹会長、坂田幹事、1年間宜しく
お願ひ致します。

深尾 一郎君：大竹、坂田新年度を祝う素晴らしい
晴天ですね!!

西脇 修君：大竹、坂田丸でコロナの嵐を乗り切
って下さい。

衛藤 重豪君：大竹会長、1年間どうぞよろしくお
願ひします!!

守重 知量君：大竹会長、坂田幹事、本日より宜し
くお願ひします。

久保田優子君：大竹会長、坂田幹事、1年宜しくお
願ひ致します。

川端 定則君：大竹さん、坂田さん、よろしくお願
ひします。

今井 千晶君：大竹・坂田丸 レッツゴー!!

河合由里子君：新年度の役員の皆様、1年間宜しく
お願ひ致します。

江副 碧君：久しぶりに出席出来て嬉しいです。

浅見 亨君：新年度よろしくお願ひ致します。

中瀬 賀暁君：新年度、よろしくお願ひします。

林 ひろみ君：寸志。

小泉 始君：寸志。

齊藤 学君：寸志。

【米山財団寄付】

小島 清治君：新年度です。大竹会長、坂田幹事、各委員会の皆様、1年間どうぞよろしくお願ひします。

岡垣 栄治君：大竹さん、坂田さん、本日から船出ですね。楽しみにしております。

西岡 孝志君：大竹会長、坂田幹事、ご活躍を期待しています。

謝辞

本論文の作成において、指導教官であります明治大学政治経済学研究科の鈴木利大先生よりご指導頂いたことに心より感謝申し上げます。

同じく明治大学政治経済学研究科の藤永修一先生にも研究および論文全般に渡って丁寧かつ熱心なアドバイスを頂いたことに感謝致します。

また明治大学政治経済学研究科および政治経済学部の末永啓一郎先生、齋藤雅己先生、柴田有祐先生からも研究全体に関して有益なご提案やコメントを多数頂いたことに深く感謝致します。

博士課程の期間において研究生活を支えて下さり、公私に渡って大変お世話になりました紀尾井町ロータリークラブの皆様、そしてパスト会長で私のカウンセラーでもあります小島清治さんにも心より深く感謝致します。

自分の専門分野や研究で視野が狭くなりがちになる中、日本経済や世界経済についての深い造詣を基に、経済や金融の様々なテーマについて幅広く検討する機会を頂いた独立行政法人経済産業研究所の中島厚志理事長にも感謝を申し上げます。

また研究の悩みやアイデアなどについての他愛も無い四方山話にいつも付き合ってくれた経済産業研究所の荒木祥太研究員やリサーチ・アシスタントのチャン・チャンさん、同期として常に穏やかに研究の応援をしてくれた大阪大学経済学部・経済学研究科の加藤隼人先生にも感謝致します。

同じ研究者として、自分の進みたい道に進むよう常に心配し応援してくれた両親にもこ

こで感謝の気持ちを記したい。離れているものの、二人がいつまでも健康で幸せな人生を送ることを願ってやみません。

高校、大学の後輩でもあり、常にお互いの世界を共有できる弟の存在もまた研究生活において大きな支えであったことは言うまでもありません。これからの人生においてお互いのためなら何も惜しまないだけではなく、彼の人生が前途洋々であることを誰よりも信じています。

最後になりますが、妻無しにはこれまでの研究や論文はおろか、妻のいない恐ろしい人生を想像するまでも無く、今の私自身が存在しなかつたらうことは間違いありません。常に私を支え、傍にいてくれることがどれだけ私の力になっているかは言葉では表せない程です。これからも健康で、目標に向かって素直に進める幸せな人生を歩めるよう支えていきたいと思えます。